

Together

徳島県立 穴吹高等学校
人権啓発新聞「Together」
(第3号)

2016年 3月24日発行
ヒューマンライツ部

2015年度の「Together」もいよいよ最終号となりました。
今回はヒューマンライツ部の一年の活動をふり返りたいと思います。

今年度は新たに部員も加わり、より多くの活動が出来ました。

また、校内学習だけでなく、校外研修にも参加し他校の方達とも交流を深めることが出来ました。この一年は人とのつながりを再確認できる年となりました。みなさんはどうでしたか？

人権問題は人とのつながりがあるからこそ起こる問題です。
これからも身近なこととして、少しでも興味を持ち、考えてほしいです。

校内人権の日 (3学期) 人権学習 HR 活動 (3学期)

1月 「いろいろなマーク」

最初に マークだけを見て、そのマークの名前と意味
そして マークを見かけた時 どうすればいいかを考えました。
普段よく見るマークですが 名前や意味までは、分から
ない人が多かったので 周りの人と相談しながら
考えました。みんなが マークの意味や、見かけた時
どのように 行動すればよいかを知っていれば、誰もが
暮らしやすい社会になると思いました。

(★ 保護者のみなさん、
裏面のマークを どなたか知っていますか?)

2月 「3ヶ月後の自分に手紙を書こう」

これまでに ふり返って反省し、3ヶ月後までに
どんなことをすればよいかを考えることができた
貴重な時間でした。今すぐできる具体的な
行動を とにかく実行したいと思います。
友達の見意見を聞いて共感できることも多かった
ので、いっしょにがんばれるようなクラスに
していきたいと思いました。

3月 「本年度の校内人権の 日をふり返ろう」



1年生 「水平社宣言に学ぶ

～人を尊重する生き方～

前回のHRで水平社が作りかえるまでの運動について
学習しました。「差別は仕方がない」とあきらめる人々が多かった
時代に 西光万吉たちを中心に 水平社が 結成され、
作りかえた水平社宣言を読んで、心に残ったところを発表し、
水平社宣言にこめられた願いである「人は尊敬すべき
ものだ」という思いについて考えました。

私たちはよく、自分よりも劣っていることを求める心を持って
しまいがちですが、そうではなく人を尊敬できる生き方を
したいと思いました。

2年生 「アイヌ民族差別」

アイヌ問題について学習した後、ビデオで結婚式の
様子や各地で行われているフェスティバルを見ました。
アイヌ文化について知らなかったことをたくさん知ることが
でき、とても勉強になりました。私たちが使っている言葉の
中に、また北海道の地名のほとんどが アイヌ語に由来
していることに とても驚きました。

もっとアイヌの文化について学習し、交流や体験を
してみたいと思いました。



中・高生による人権交流集会に参加して 12月20日(日)県教育会館

第2分科会では「差別のない社会づくりに向け～ハンセン病回復者の想いに学ぶ～」というテーマで話し合いました。

まず6つの班に分かれて中高生のグループを作りました。各班ごとに2人のスタッフが入り、進行や書記をしました。最初は緊張ぎみだったけどスタッフが気さくに話しかけながら誰でも意見しやすい空間をつくりました。ハンセン病についてはみんな教科書に載っていて知っているだけで、具体的にどういう病気なのか、なぜ誤った差別が引き起こされてしまったのか、わからない点が多かったみたいで。でもムービーやパワーポイントも工夫して簡潔にわかりやすくまとめていたので、中高生たちからとても評判がよくて大成功でした。

ハンセン病は感染力が弱く、適切な治療で治る病気であることを広く知らせたかった上に、「らい予防法」が放置されてきたことにより、長年にわたりハンセン病回復者・家族の方々には偏見や差別を受けてきました。こうした問題を解決していくのは社会全体の責任である、ということについて参加者全員で考えました。

第3分科会では「戦争と平和」というテーマで話し合いました。

まず「平和」とは、どのようなことが「平和」と言えるのか話し合いました。1人1人違う意見もあれば、同じ意見もありました。出た意見を話し合っていると、どれも人権侵害がなく「幸せ」であることが分かりました。

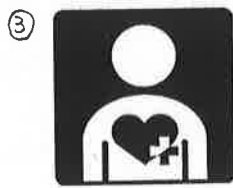
そこで戦争によってうばわれた人権について話をしているマララさんの本の内容について話し合いました。

マララさんが伝えたいことは何なのか。マララさんたちが望んでいることは何か、ということも話し合い、戦争では、人権侵害があることが分かりました。戦争によってうばわれた人権はたくさんあり、命の尊厳、人権の大切さを改めて学ぶことができました。

それを知った上で「平和」になるために私達が今できることは何か考え、私は戦争は自分のことばかりで周りの人の気持ちを考えていないから起こるのだと思います。自分の行動が周りの人を傷つけないか考え、行動するということが大切だと思い、そのような行動ができるようにしたいと思いました。

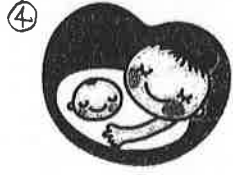
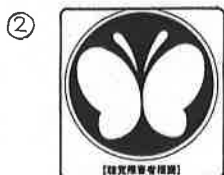
今、私達がどれだけ幸せか実感しました。

～ なんのマーク？ ～ 生徒のみなさん覚えていますか？ 保護者のみなさんは知っていますか？？



① 障がい者のための国際シンボルマーク
障がいのある人が利用できる建築物・施設であることを示す世界共通のマークです。

③ ハートプラスマーク
外見からはわかりにくい身体内部の障がい(心臓・腎臓・呼吸器等)があることを表します。



② 聴覚障がい者標識
聴覚障がいのある人が運転する車であることを表します。

④ マタニティマーク
妊産婦が、交通機関等を利用するときに身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするものです。